

税務 LAN 給報パンチツール AI-OCR 連携オプションリリースのお知らせ

自治体へ紙で届く給与支払報告書及び総括表のスキャンイメージを用いて、パンチデータ作成を支援する『給報パンチツール』の AI-OCR 連携オプション機能を追加実装リリースいたします。AI-OCR 機能は株式会社 PFU 『DynaEye 給与支払報告書 OCR』と連携いたします。

◆システム概要・特長

給報の電子化が進む現在も紙提出が残っており、当初課税時期に集中するパンチ業務の委託先調整や知識が必要な給報データ入力に慣れた臨時職員の採用が困難な状況が続いています。

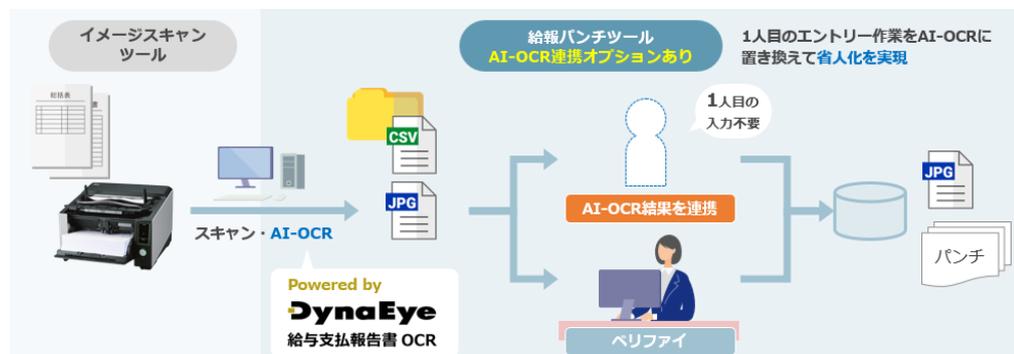
給報パンチツールは、給与支払報告書及び総括表スキャンイメージを参照しながら、給報同様の入力画面へデータ入力が行えるパンチ業務支援のツールとして開発いたしました。

パンチデータの精度を高めるため、給報データのベリファイ（2回）入力機能を実装していますが、その1回目に『DynaEye 給与支払報告書 OCR』の値を利用し、パンチ入力作業を省力化します。

今後も労働人口減少が見込まれるため、さらに AI-OCR を組み込んだシステムの活用による作業削減が重要度を増しています。

完成したパンチデータは税務 LAN 『給報年金エントリーツール』へそのまま取り込める形式で出力され、毎年税制改正に対応した製品を提供いたします。

<給報パンチツール AI-OCR 連携イメージ図>



◆リリース予定

2024年11月

税務 LAN ユーザー様向けリリース（2025年版）

新規導入の場合には2025年11月稼働予定でご提供いたします。

◆導入利用シーン例

給報パンチツール（AI-OCR 連携オプション付き）は、以下のようなユーザーに最適です。

- ・ 庁内で臨時職員等による給報データ入力を行っている自治体様
- ・ 庁内で給報データ作成を委託業者に依頼している自治体様
- ・ 大量の給報パンチ委託を請け負っている業者様

◆必要な動作環境

- ・スキャナー

推奨機種：PFU 社製 fi-8950、fi-8930、fi-8820、fi-7900、fi-7800、fi-7480、fi-7460
CANON 社製 DR-G2140、DR-G2110、DR-X10C

- ・スキャン制御端末

「DynaEye 給与支払報告書 OCR」が動作できる GPU スペックが必要です。

- ・エンバカデロ・テクノロジーズ社 データベース「InterBase」

※給報パンチツール、DynaEye 製品一式は弊社ダウンロードサイトより最新版を提供いたします。

◆お問い合わせ

システムに関するご質問や機能のご紹介、価格見積について

【税務 LAN ユーザー様】

税務 LAN 販売会社またはサポート会社へのお問い合わせください。

給報パンチツールは税務 LAN 通常パッケージには含まれておりません。

給報パンチツール利用料に加え、AI-OCR 連携オプション費用がかかります。

【新規ユーザー様】

下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

自治体様向けへの導入の場合は、税務 LAN 販売会社経由でお見積りいたします。

パンチ業者様など税務 LAN ユーザー様以外でもご利用可能です。

株式会社リードコナン 北上支社 開発営業部

TEL：0197-72-7651

MAIL：eigyou_kaihatu@leadkonan.co.jp

本 AI-OCR 連携オプションは株式会社 PFU「DynaEye 給与支払報告書 OCR」と連携しています。
現在「DynaEye 給与支払報告書 OCR」の一部 OCR 項目の読取りがご利用いただけませんが、
順次対応予定です。

DynaEye 製品については、PFU 社のホームページをご覧ください。

<https://www.pfu.rioh.com/news/2024/news240910.html>

<https://www.pfu.rioh.com/dynaeye/product/spr-ocr/>

※記載の会社名、製品名などは、各社の商標または登録商標です。